

# ジュピターテレコム(J:COM) 2019 年度下期 事業説明会要旨

2019 年 11 月 20 日(水)に、報道関係者の皆様を対象に 2019 年度下期 事業説明会を開催いたしました。

## <発表者>

代表取締役会長 石川 雄三

代表取締役社長 井村 公彦

発表要旨は以下の通りです。

「お客さまの暮らしを豊かにする企業」を目指し、現在、「この街の役に立っているか。」J:COM”というコミュニケーションメッセージを掲げ、取り組みを行っている。地域メディアとしての役割を担い、「便利さ」「快適さ」「安心」「楽しさ」を提供するべく、心に響くサービスとコンテンツの提供に取り組んで参ります。

## 地域メディアとしての役割

### ■ 防災・災害時の支援対応の取り組み

J:COM は、災害発生時だけでなく、防災・災害時の支援対応を継続的に行っています。また、地域密着企業として、自治体との防災協定や災害時の支援協定に基づいた取り組みを拡大させています。

先日関東圏を襲った台風 15 号と 19 号の当社の取り組みを紹介

#### ✓コミュニティチャンネル 地域別に被災者が求める情報発信

- ・「J:COM チャンネル」「J:COM テレビ」にて、きめ細かい地域別に、被災者が求める警戒情報、被害状況、行政発表、生活支援情報などを、L 字放送やデータ放送、被害が深刻なエリアでは特別番組にて放送
- ・スマートフォン向けの地域情報アプリ「ど・ろーかる」では、全地域の災害特別番組を視聴できるようにしたほか、避難指示や給水所の場所などの情報を継続的に発信し、災害の影響でテレビがご覧いただけない方にも情報が取得できるようにしました。

#### ✓お客さま対応 物資支援や行政と連携した活動などを実施

- ・食料やタオル、手巻きラジオ等の物資支援、各拠点での携帯充電サービス
- ・自治体との災害時支援協定に基づいた物資の運搬支援

#### ✓技術 迅速なサービス復旧に向けた取り組み

- ・9 万世帯を超えるサービス障害に対して、可能な限り迅速な復旧を行うべく、関東圏のみならず、関西や九州などから、延べ約 2 千人の増強体制で対応

地域に根差したインフラ企業としての責務を全うすべく、「この街の役に立っているか」を自問しつつ、それぞれの持ち場で自分たちにできることに最大限努めました。

## 心に響くサービスの提供

お客さまの暮らしをアップデートする新サービスとして、6月末から「J:COM HOME」、10月から「J:COM メッシュWi-Fi」を開始、9月に「J:COM LINK」を発表しました。さらに、オンライン診療の実証実験を9月から開始しています。

### ■ J:COM HOME 「スマートロック」

ホームIoTサービス「J:COM HOME」を6月に開始し、「家電パック」「見守りパック」を提供しています。スマートロックに関するご要望が多いという調査結果より、皆様のご期待に応えるべく、「J:COM HOME」にスマートロックを加え、来春から集合住宅向けに提供します。高品質なスマートロックをリーズナブルな利用料金で提供する予定です。

J:COM HOME 「スマートロック」の特徴

- ✓ 暗証番号、ICカード、J:COM HOME アプリを介したスマホでも利用できる
- ✓ (株)ライナフと美和ロック(株)が共同開発した高い品質と高い耐久性の製品を採用
- ✓ 設置からサポートまで、すべて J:COM の専門スタッフが対応

J:COM HOME 「スマートロック」が提供する価値

- ✓ 入居者様は、カギが不要で紛失の心配がなく、利便性が向上
- ✓ 賃貸集合住宅のオーナー様は、物件のスマート化による入居率の向上・家賃収入の増加が見込める  
空室時の民泊対応も可能で、資産の有効活用にもつながる
- ✓ 管理会社様にとっては、入居者の入退去時のカギ交換が不要  
清掃時や内覧時のカギの受け渡しが省けるなど、管理業務の効率化が図れる

### ■ J:COM メッシュ Wi-Fi

J:COM メッシュ Wi-Fi を10月から提供しています。インターネット利用者の約4割の方が Wi-Fi 環境に不満があるという課題を解決するべく、10月10日から2局でスタート、10月31日から全国展開しています。

J:COM メッシュ Wi-Fi の提供価値

- ✓Wi-Fi の負荷分散
- ✓速度向上・安定
- ✓AI 学習・周波数自動切替

想定を大幅に超える好調なスタートをきっており、想定の約3倍ものご契約をいただいています。今後も皆さまの課題解決を可能にするサービスの提供に努めていきます。

## ■ J:COM LINK

「J:COM LINK」という名前には、STB を通じて、放送だけでなく、さまざまなサービスと繋がること、「J:COM LINK」がお客さまのご家庭内の暮らしの中心となり、より楽しく、便利で快適なライフスタイルを提供していくという思いを込めています。

### ✓高度化した機能

- ・これまでの STB にあった機能「100ch 以上のテレビ放送」、「高画質の 4K 対応」、「番組検索」に、「ネット動画」、「立体音響の Dolby Atmos」、「高度なレコメンド」、「音声による番組の検索と操作」、「録画番組の持ち出し視聴」、「外出先からのリモート視聴と録画予約」などが加わりました。
- ・Android TV を採用したことにより、オープンで柔軟なプラットフォームが実現。今後も様々な進化が期待できます。

### ✓サービス提供日と料金

- ・11 月 28 日(木)から申込受付開始、12 月 1 日(日)からサービス提供開始
- ・これまで提供してきた TV サービスのご利用料金と同額で提供

### ✓Netflix キャンペーン、DAZN キャンペーンもスタート

- ・Netflix キャンペーン …Netflix スタンダードプラン月額料金:1,200 円(税抜)が 3 カ月 0 円
- ・DAZN キャンペーン …月額料金:1,750 円(税抜)が最大 4 カ月 0 円

### ✓「J:COM タブレット」にも新端末が登場

- ・ご自宅の中や外出先でも、J:COM LINK を最大限お楽しみいただくため、大画面 10 インチで薄くて持ちやすい新型タブレット「Galaxy Tab A」(Wi-Fi モデル)も同時にリリースします。

## ■ オンライン診療の実証実験

現在、テレビ画面を利用したオンライン診療の実証実験を展開しています。実験開始の背景として、日本国内の超高齢化にともなう、慢性疾患患者の増加や介護負担の問題があります。これらの課題に対してテレビ画面を利用したオンライン診療で解決できるか、特に高齢者の有用性を検証するために実証実験を開始しました。安心してオンライン診療を利用できる環境を整え、在宅医療を補助できる仕組みを提供したいと考えています。2021 年度の商用化を検討中です。

J:COM のオンライン診療のメリット

- ✓テレビ画面で対面のように、患者様、医師の表情がお互いによく見え、安心して対話ができる
- ✓設置からサポートまで、J:COM が全てサポート

## ■ サポート体制の強化

新しいサービスを次々に展開していきますが、ホーム IoT などの機器をご自身で設定できるお客さまはまだ少ない状況です。しかし、J:COM には手厚い訪問サポートサービスがあり、安心して快適に新サービスをご利用いただける自信があります。訪問サポートは J:COM の強みであり、競合環境下、差別化のためにも重要な位置づけです。現在、お困りごとでの訪問サポートは、月平均 1 万件を超えており、今後、ますますその需要は増える見込みです。さらなる訪問サービスの強化に向けて、IT 分野での訪問サポート企業である株式会社ザクアへの出資を 10 月 1 日に決定しました。

## 魅力あるコンテンツ

### ■ ラグビーワールドカップへの取り組み

本年は、ラグビーワールドカップがあり、J SPORTS にとって活気のある 1 年でした。

ラグビーワールドカップ J SPORTS の取り組み

- ✓ 台風で影響を受けた試合を除き、全ての試合を 4K 放送で生中継
- ✓ パブリックビューイングで 192 か所、ファンゾーンでは 16 か所に映像を提供
  - ※J:COM も開催地の自治体への協力に応じ、13 か所で前哨戦のパブリックビューイングを実施
- ✓ J SPORTS 初となる訪日外国人向けに VOD サービスを提供しました。

ラグビーワールドカップ効果 営業契約件数 前年 9 月～10 月との比較

✓ 衛星放送	スカパー	1.6 倍
✓ ケーブルテレビ	J:COM	9.3 倍
✓ ビデオオンデマンド	ラグビーパック	2.9 倍

### ■ アスミック・エースの取り組み

映画については、話題作を次々に配給し、「劇場版おっさんずラブ～LOVE or DEAD～」は 26 億円、「人間失格 太宰治と 3 人の女たち」は 13 億円の興行収入を達成しました。さらに、「映画すみっぐらし 飛び出す絵本とひみつのコ」は、多くの小学生とそのご家族に大変喜ばれ、公開わずか 10 日で 4 億円を超えました。

### ■ 4K 放送への取り組み

「4K J:COM Box」の契約はほぼ計画どおりに進捗し、10 月末現在の設置台数は 47.7 万台となりました。A-PAB が発表した視聴可能機器台数との比較では、全体の約 24%、ケーブル受信の約 96% を占めることとなります。「4K J:COM Box」と本日発表した「J:COM LINK」により、今後も実直な普及に努め、来年の夏までに、4K 視聴可能世帯数 “100 万世帯” 達成を目指していきます。

※事業説明会のダイジェスト映像は、以下 URL からご覧いただけます。

<https://youtu.be/NMkOilGI34>

以上